



資料1

神奈川県ナースセンターによる 復職支援について

医療整備・人材課
2024.8.27

1 第8次保健医療計画での県ナースセンターによる 復職支援

1 第8次保健医療計画での県ナースセンターによる復職支援

看護職員の確保と質の高い看護を提供するため、県ナースセンターによる復職支援を行います。

施策の方向性

- ✓ 県ナースセンターは、看護職員の再就業に向けた**就業相談**や**情報提供**を行うとともに、個々の状況に合わせた**求人・求職間のあっせん**を行います。
- ✓ 県ナースセンターは、看護職員が安心して復職できるよう、最近の医療・看護技術等に関する**研修を実施**します。
- ✓ 県ナースセンターは、看護職員の確保が困難な医療機関等への求人情報登録の支援や公共職業安定所との連携強化等を行うことにより、**県ナースセンターを通じた就職者数の増加**を図ります。

現状の施策

- ✓ 看護師等の**無料職業紹介、就業相談**を行っています。
- ✓ 未就業看護職員を対象とした**復職支援研修**を実施しています。
- ✓ 求人施設に対して**公共職業安定所連携求人の代行登録支援**を実施しています。
- ✓ 公共職業安定所での**巡回相談**や連携した**相談・見学会**を実施しています。

(第8次保健医療計画より一部抜粋)

2 神奈川県ナースセンターの現状

2-1 神奈川県ナースセンター事業概要

県からの業務委託により、神奈川県ナースセンターで看護師等の人材確保の促進に関する法律に基づき、事業を実施している。

無料職業紹介事業

1. 看護職員及び医療機関等の求職、求人の紹介・斡旋・相談(e-ナースセンター)

LINEでの情報発信とマッチング支援をR5年度から開始

(LINE登録者数:450人(R5年度実績)、令和6年7月現在の累計1200人)

2. ハローワーク・ナースセンター連携事業

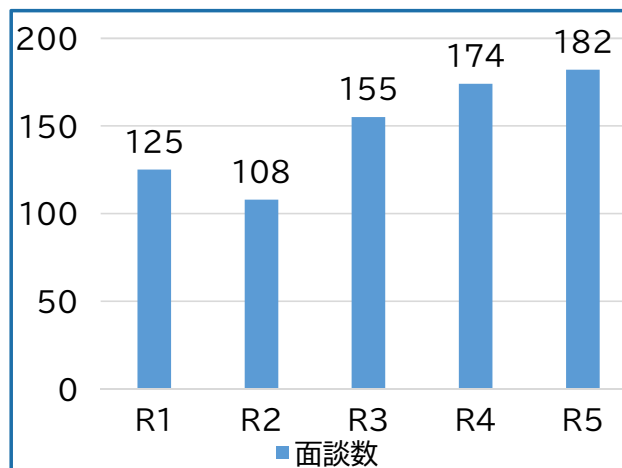
R3年度から連携ハローワークを1ヶ所増加し計7ヶ所で巡回相談を実施

3. 離職看護師等の届出制度

研修事業

1. 看護職員のキャリア継続支援研修
2. 未就業看護職員の復職支援研修
3. 就業者の定着支援研修

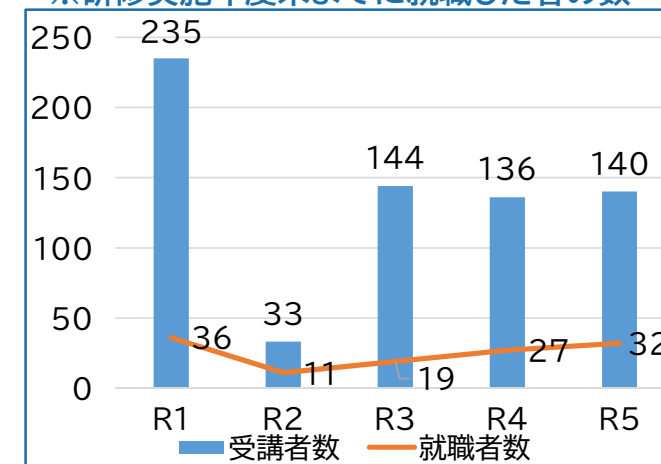
ハローワーク巡回相談面談数(単位:人)



普及啓発事業

1. 進路相談事業
2. 看護フェスティバル

復職支援研修受講者数及び就職者数(単位:人)※
※研修実施年度末までに就職した者の数

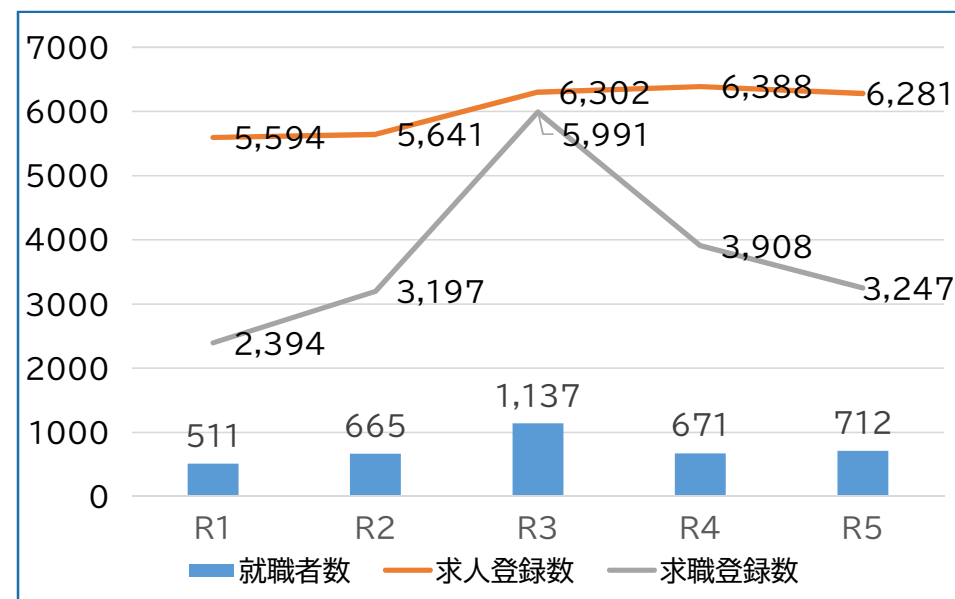


2-2 神奈川県ナースセンターの登録数推移

- ◆ 求人・求職の登録者数や就職者数は増加傾向にあるが、**求職登録者数に対する就職者数の割合は2割程度**にとどまっている。
- ◆ 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症ワクチンの打ち手等を確保するため、国と県が就業準備金等の支給を実施したため、求職登録数、就職者ともに大きく増加した。(eナースセンター登録者であることを要件としたため)

ナースセンター求人・求職数及び就職者数

	R1	R2	R3	R4	R5
求人登録数	5,594	5,641	6,302	6,388	6,281
求職登録数	2,394	3,197	5,991	3,908	3,247
就職者数	511	665	1,137	671	712
求職登録数に対する就職者数の割合	21.3%	20.8%	19.0%	17.2%	21.9%



※求人登録数及び求職登録数は、ナースセンターの無料職業紹介における数。

※就職者数は、ナースセンターの無料職業紹介による就職者のほか、ハローワークの紹介による就職者などを含む。出典：ナースセンター事業実績報告

※e-ナースセンターとは、都道府県ナースセンターが運営する無料職業紹介サイト。希望者だけが登録するもの。

2-3 神奈川県ナースセンター求人登録者数

施設別の求人登録者数

	施設登録数(a)	求人票を公表している施設数 (b)	県内施設数(c)	求人票を公表している割合(b)/(c)
訪問看護ステーション	371	62	1,049	6%
病院(500床以上)	29	6	23	26%
病院(499~200床)	127	31	115	27%
病院(199~20床)	177	43	199	22%
診療所(有床)	46	4	11	36%
診療所(無床)	924	58	-	-
介護老人保健施設	88	12	637	2%
介護老人福祉施設(特養)	178	22		
合計	1,940	238		

○**病院**は、ナースセンターに施設登録している(ナースセンターの存在は知っている)が、**求人票を公表している施設が少ない**。

○実際は、**民間の有料職業紹介事業者を利用して採用活動を行っている病院が多い**。

○**訪問看護ステーション、老健・特養**は、ナースセンターに登録している施設数が**そもそも少ない**。県内施設数の**約4割程度**

※施設登録数(a)と求人票を公開している施設数(b)は、令和6年7月時点で、ナースセンターシステムより抽出。

※施設登録数(a)は、求人票を複数登録している場合に複数カウントすることがあるため、実数と異なっている。

※県内施設数(c)は、施設別により把握時点が異なっている。

2-4 神奈川県ナースセンター求職登録者数

看護師等の離職時の届出制度届出状況及びナースセンター登録者数(R5年度実績)

	神奈川県の 届出者数	神奈川県の届出者のうち、 e-ナースセンターに登録した人	登録割合 (%)
4月	155	31	20.0%
5月	40	18	45.0%
6月	48	13	27.1%
7月	58	15	25.9%
8月	42	9	21.4%
9月	33	7	21.2%
10月	28	7	25.0%
11月	32	6	18.8%
12月	35	6	17.1%
1月	46	12	26.1%
2月	58	12	20.7%
3月	111	15	13.5%
合計	686	151	22.0%

○神奈川県の届出者数のうち、e-ナースセンターへの登録割合は令和5年度の年間実績で**22%**と低くなっている。



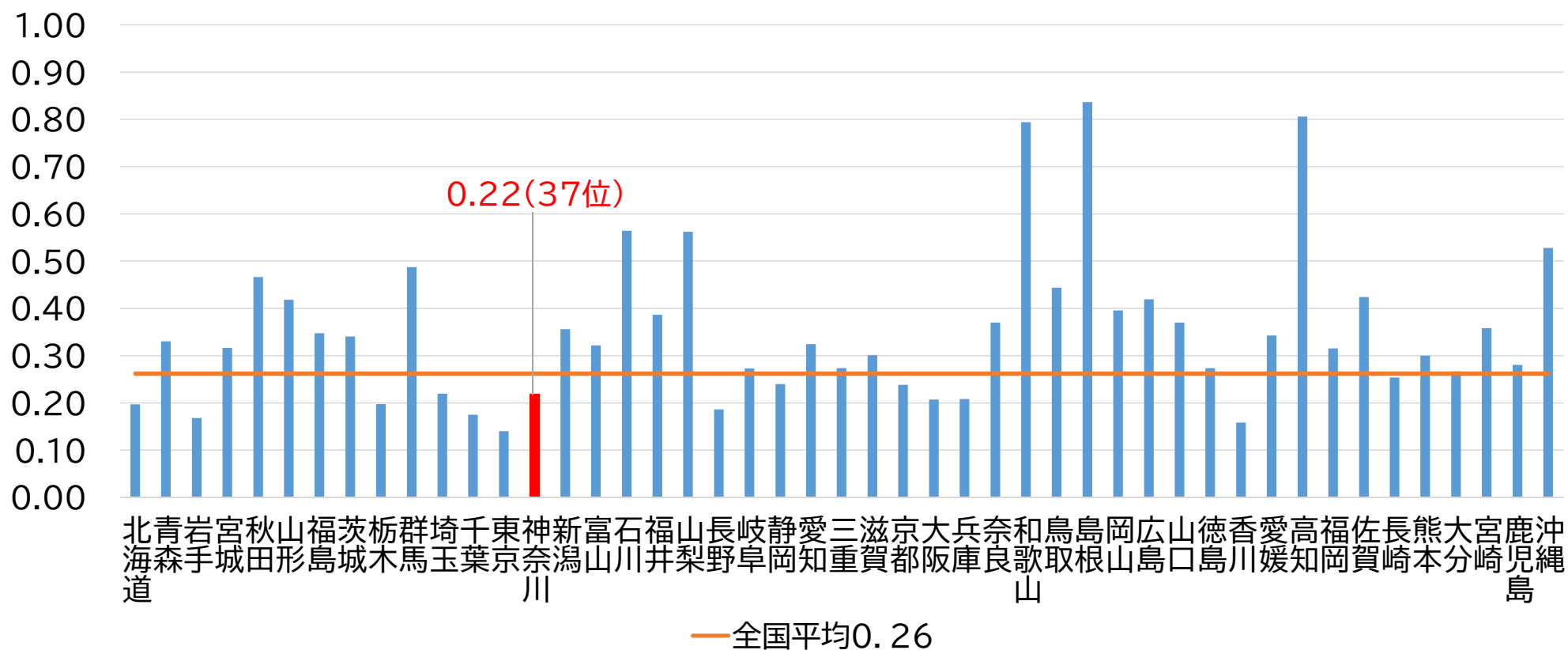
増やすことはできないか？

※看護師等の離職時の届出制度とは

看護職員が病院等を離職した場合等に住所、氏名等の事項を都道府県ナースセンターに届け出ることが努力義務化されている。

2-5 各都道府県ナースセンターの求職者に対する就職者数の割合

求職者に対する就職者数の割合(令和5年度)



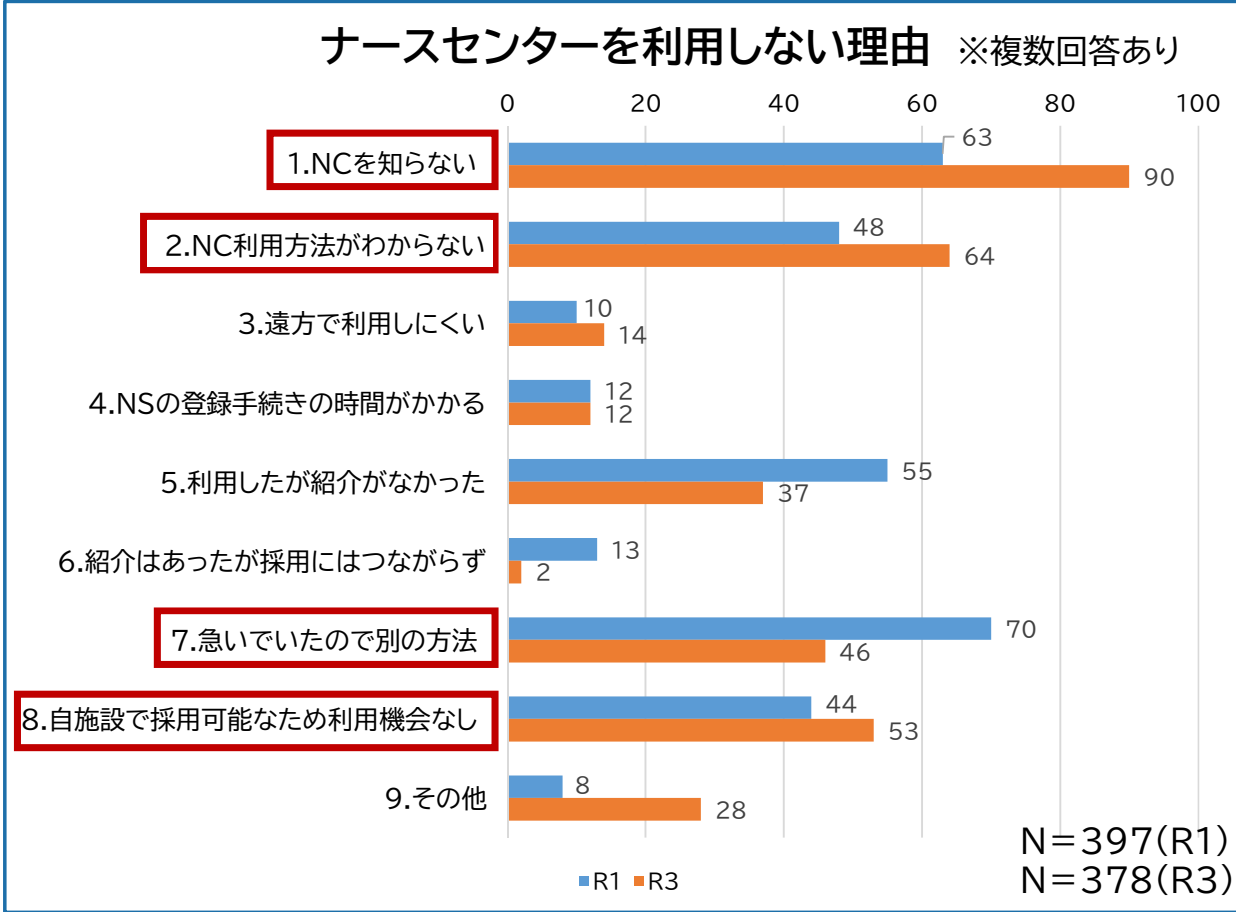
2-6 看護職員就業実態調査(老健・特養)結果

Q.ナースセンターを求人に利用しなかった理由は何ですか。

- ナースセンターを利用しない主な理由
- 1.「ナースセンターを知らない」
 - 2.「利用方法が分からない」
 - 7.「急いでいて別の方法を使用」
 - 8.「自施設で採用可能のため利用機会なし」

※看護職員の採用活動をした施設で、ナースセンターを活用していないと回答した施設に聞き取り。

(出典)
・令和3年度 看護職員就業実態調査(老人保健施設・特別養護老人ホーム)
・令和元年度 看護職員就業実態調査(老人保健施設・特別養護老人ホーム)



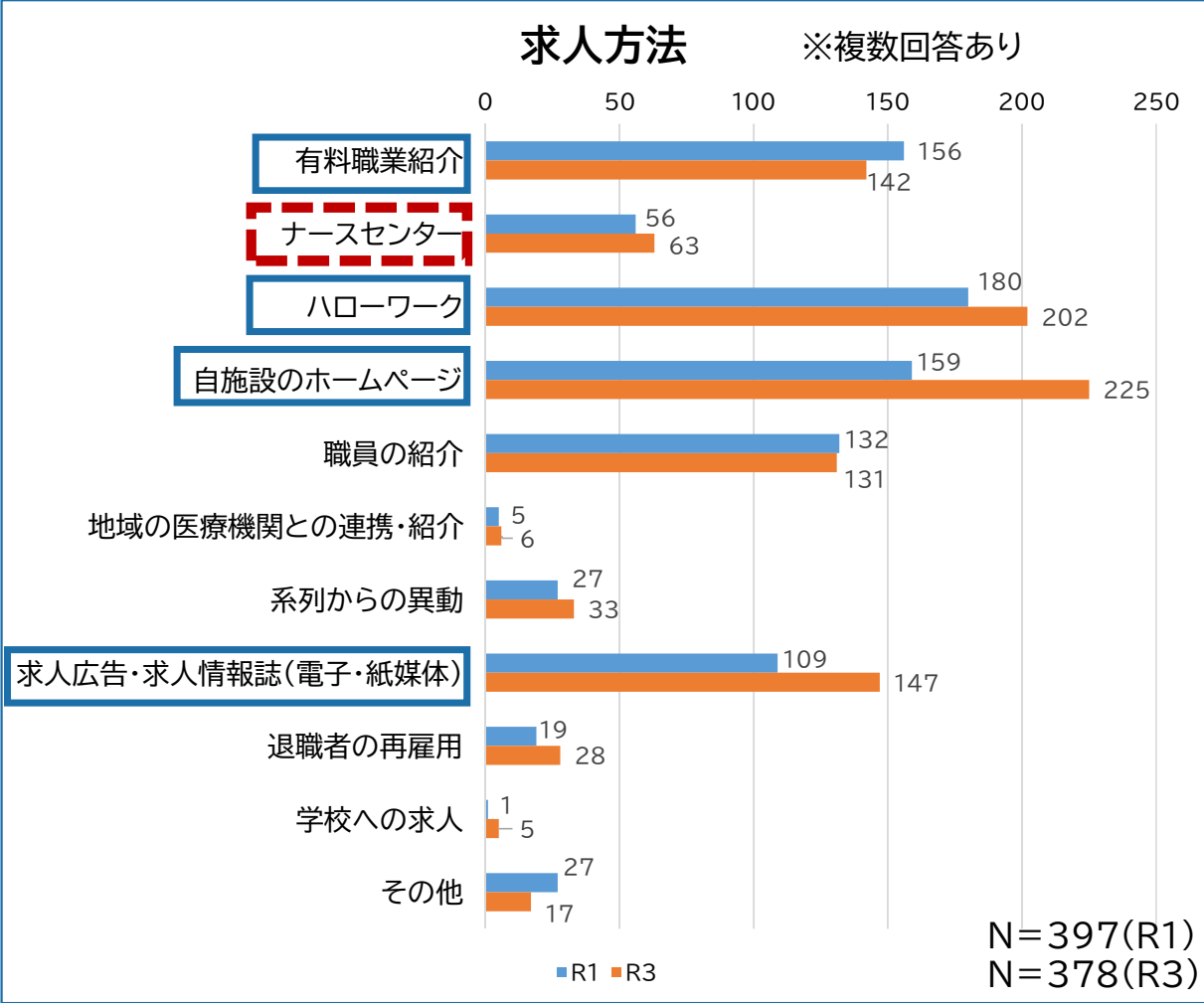
2-7 看護職員就業実態調査(老健・特養)結果

Q.看護職員確保のために活用した方法と採用人数を教えてください。

- 主な求人方法
- ・有料職業紹介
 - ・ハローワーク
 - ・自施設のホームページ
 - ・求人広告

○全回答の中で、「**ナースセンターを活用する**」という回答の割合は、令和3年度時点で、**約16%**にとどまっている。

(出典)
・令和3年度 看護職員就業実態調査(老人保健施設・特別養護老人ホーム)
・令和元年度 看護職員就業実態調査(老人保健施設・特別養護老人ホーム)



2-8 求人側と求職者のアンマッチについて

求人の多い施設

順位	施設
1位	訪問看護ステーション
2位	病院(20～199床)
3位	病院(200～499床)
4位	ケアハウス・グループホーム・有料老人ホーム
5位	診療所(無床)

求職者が働きたい施設

順位	施設
1位	会社・事業所
2位	健診センター・労働衛生機関
3位	診療所(無床)
4位	市町村・保健センター
5位	都道府県・保健所

出典：神奈川県eナースセンターシステム統計データ（令和5年度）



求人側	✓ 1日働ける人材を求めている ✓ 50歳前後の再就職を希望している人を雇用するのはハードルが高い。
求職者側	✓ 半日や短時間で働ける職場を求めている人が多い。 ✓ 60歳以上でもまだまだ働きたい人は多い。

アンマッチ

3 県ナースセンターによる復職支援の今後の方向性

3-1 県ナースセンターによる復職支援の今後の方向性

施策の方向性

- ✓ 県ナースセンターは、看護職員の再就業に向けた就業相談や情報提供を行うとともに、個々の状況に合わせた求人・求職間のあっせんを行います。
- ✓ 県ナースセンターは、看護職員が安心して復職できるよう、最近の医療・看護技術等に関する研修を実施します。
- ✓ 県ナースセンターは、看護職員の確保が困難な医療機関等への求人情報登録の支援や公共職業安定所との連携強化等を行うことにより、県ナースセンターを通じた就職者数の増加を図ります。



現状の施策

- ✓ 看護師等の無料職業紹介、就業相談を行っています。



ナースセンター求人・求職数及び就職者数を増やします。

- ✓ 未就業看護職員を対象とした復職支援研修を実施しています。
- ✓ 求人施設に対して公共職業安定所連携求人の代行登録支援を実施しています。
- ✓ 公共職業安定所での巡回相談や連携した相談・見学会を実施しています。

3-2 求人・求職登録数及び就職者数を増やすための対応案

論点1



求人・求職登録数・就職者数を増やすためには？

1 退職者への周知



看護職員の退職時、施設側からナースセンターのチラシを配布

2 新卒者への周知



看護師免許交付時、ナースセンターのチラシを配布(保健所)

3-3 求人・求職登録数及び就職者数を増やすための対応案

論点2



求人登録数を増やすためには？

1 施設側への周知



施設側に求人登録の案内を配布

2 施設側の求人について



柔軟な勤務体系の求人を増やすための方策について、何か施設側にアプローチできることはないか？